

環境経営レポート 2025

“私たちは、CO₂ 排出ゼロを目指します”

期間：2024 年 12 月～2025 年 11 月

発行日：2026 年 1 月 30 日



目 次

1. 事業活動の概要
2. 対象範囲・対象期間及び組織
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境活動計画
6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み
7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果
8. 経営者による評価と見直し指示



KYOKKO TSUSHIN SYSTEM

1. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表者名

旭光通信システム株式会社 代表取締役 社長 酒井 元晴

2) 所在地

- ・本社 〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町 1-1 日本生命川崎ビル 5F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35
- 設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40
- 第二工場 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アールビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0032 北海道札幌市中央区北 2 条東 1-2-10 北 2 条ビル 3F

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 原 正行

連絡先 電話 0178-20-5540 (代表) FAX 0178-20-5569

URL <http://www.kyokko-tsushin.co.jp> E-mail m.hara@kyokko-tsushin.co.jp

4) 創立年月及び資本金

設立：1946 年 6 月 資本金：2,520 万円

5) 事業内容

各種情報通信装置、機器のシステム開発・設計・製造並びに工事

6) 事業規模

項目	単位	2023 年	2024 年	2025 年
		2022.12.1～2023.11.30	2023.12.1～2024.11.30	2024.12.1～2025.11.30
工場延べ床面積	m ²	3,646.98	3,646.98	3,646.98
従業員数	人	97	102	101

2. 対象範囲・対象期間及び組織

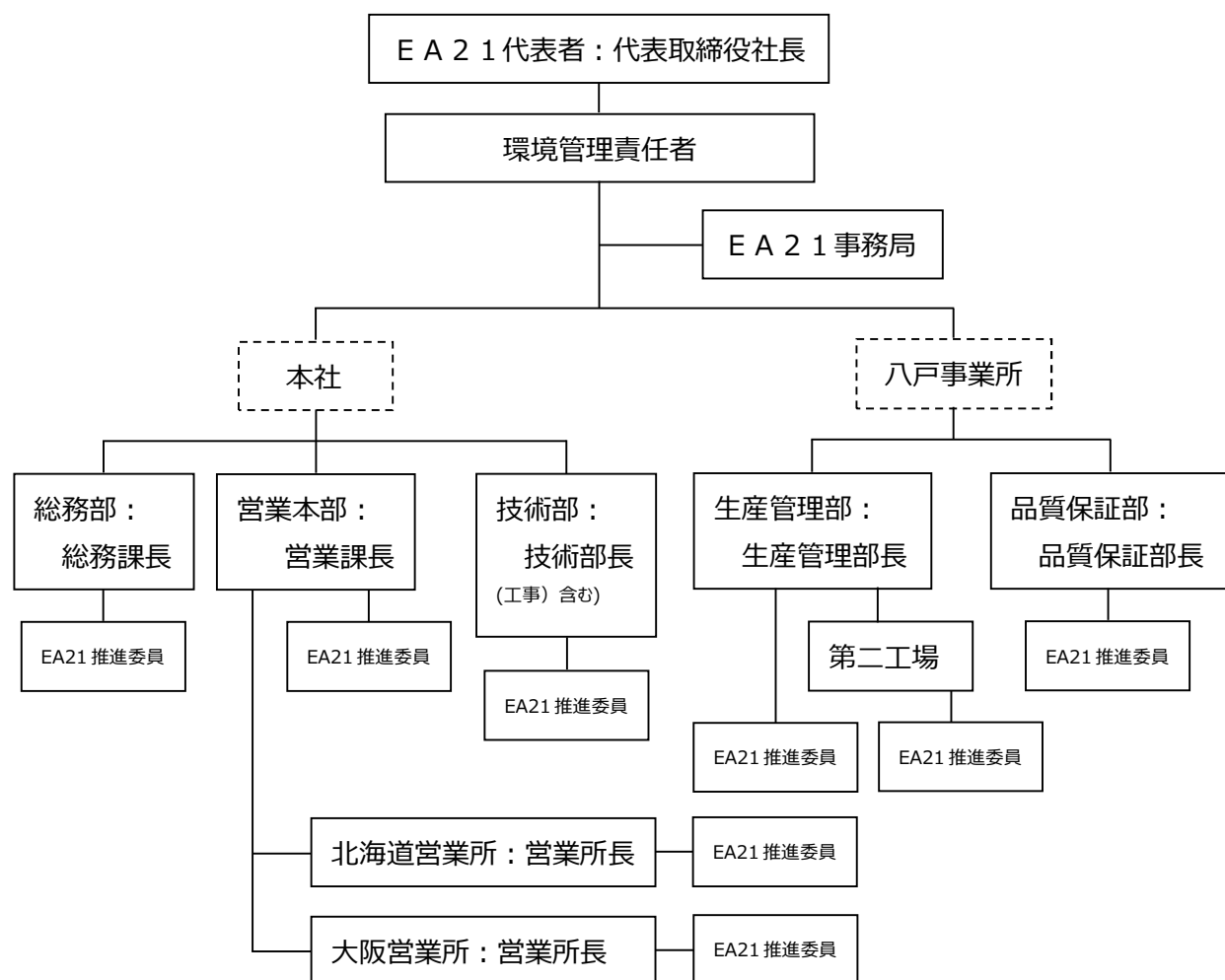
1) 対象範囲

- ・本社 〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町 1-1 日本生命川崎ビル 5F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35
- 設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40
- 第二工場 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アールビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0032 北海道札幌市中央区北 2 条東 1-2-10 北 2 条ビル 3F

2) 環境経営レポート 対象期間

2024 年 12 月 1 日 ～ 2025 年 11 月 30 日

3) 組織及び責任者



4) 責任と権限

組織の対象者	役割・責任・権限
社長	①環境経営方針を策定する ②効果的で必要十分な実施体制を構築する ③環境管理責任者を任命する ④環境経営目標及び環境活動計画を承認する ⑤環境経営システムの運用に必要な資源を提供する ⑥環境経営システムの評価および見直しを指示する ⑦経営における課題とチャンスの明確化を行う
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、運用の責任と権限を有する ②運用状況全体を把握し、社長へ報告する
事務局	①環境経営システムの構築、運用に関して管理責任者を補佐する ②環境経営システムに関する記録を保持する ③外部内部からの問合せ、苦情等の窓口業務を行う
部門責任者	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関する活動を実行する ②環境管理責任者の指示事項を実行する
EA21 推進委員	①部門における活動状況の報告を行う ②部門での EA21 活動を推進する ③EA21 活性化会議での報告事項、審議事項等の内容を課内に周知する。
従業員	①部門長からの指示事項について実行する

3. 環境経営方針

環境経営方針

環境理念

環境保全が社会共通の最重要課題の一つであることを認識し、当社の経営理念に基づき環境に配慮した商品を維持、改善するとともに環境保全に努める活動に取り組む。

基本方針

鉄道、道路関連分野での通信機器、システム等の情報連絡機器の設計、製造、販売並びに工事を事業の柱とし、以下の方針に基づいて環境経営を行う。

1. 環境負荷低減を図る為、環境経営システムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守する。
3. 環境負荷低減の為、以下の項目を環境活動の重点テーマとして取り組む。
 - 1) 省エネルギー（特に電力）を推進し、二酸化炭素排出量低減を図る。
 - ①電力の自給自足を追求する。
 - ②省エネルギー設備の更新/導入を推進する。
 - 2) 環境負荷低減に関する改善活動を推進する。
 - ①環境配慮設計の推進
 - ②工程内不適合（仕損、社内後工程）の低減を図る。
 - ③塗料の揮発性有機化合物（VOC）の排出量削減を図る。
4. 地域活動への参画を推進する。
5. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境意識向上に努める。

制定：2019年12月1日

改訂：2024年12月1日

旭光通信システム株式会社
代表取締役社長 酒井 元晴

4. 環境経営目標

4. 1 中期環境経営目標

基準は 2024 年（79 期）とする

取組項目	単位	部門	2024 年実績 (基準)	2025 年目標	2026 年目標	2027 年目標
CO ₂ 排出量削減*1	Kg- CO ₂	全体	208,856 (231,672)	206,278	201,993	196,388
電力使用量削減	Kwh	全体	379,057	371,595	363,412	352,381
		本社	11,957	11,950	11,711	11,592
		八戸	361,230	354,005	346,781	335,944
		大阪	2,285	2,280	2,234	2,212
		北海道	3,585	3,360	2,686	2,633
	電力量/生産 金額	八戸	0.304	実績把握	目標値設定	目標値設定
ガソリン購入量削減	L	全体	15,126	14,954	14,742	14,510
		本社	8,168	8,005	7,923	7,760
		八戸	5,682	5,680	5,569	5,512
		大阪	1,275	1,269	1,250	1,238
灯油購入量削減	L	八戸	90	600	600	600
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,152	1,145	1,127	1,115
		本社	178	175	172	170
		八戸	974	970	955	945
産業廃棄物削減	Kg	全体	4,240	4,236	4,151	4,109
		本社 工事含む	1,591	1,590	1,558	1,542
		八戸	2,649	2,646	2,593	2,567
水使用量削減	m ³	八戸	635	670	670	670
揮発性有機化合物削減(社内)	L	八戸	4	4	4	4
揮発性有機化合物削減(塗料)*2	L	全社	-	実績把握	目標値設定	目標値設定
環境配慮設計の推進	件	技術	8	10	11	12
不適合の低減	千円	生管	302	272	245	221
	千円	技術*3	-	実績把握	目標値設定	目標値設定
残業時間の削減	時間	生管	5,329	4,796	4,556	4,328
	時間	品証	3,422	3,080	2,926	2,780
地域貢献(地域清掃)	件	総務	2	2	2	2
地域貢献(工場見学)*4	受入率	総務	受入率 91%	受入率 100%	受入率 100%	受入率 100%

*1 排出係数は、R6.5.19（R6.7.19 一部追加・修正）の調整後排出係数（本社は東京電力エナジーパートナー㈱、八戸は東北電力㈱、大阪は関西電力㈱北海道は北海道電力㈱）を使用。2024 年実績（基準）の上段は R6.5.19 の排出係数で算出した値。下段は前回使用の R4.1.7 の排出係数で算出した値。

*2 協力会社 1 社体制から 2 社体制への変更による実績把握後、2026 年から目標設定を行う。

*3 やり直し（再製作含む）が発生したもの（材料費、処理費、部品費、工数）を対象とし、実績把握後、2026 年から目標設定を行う。

*4 インターシップの受入含む。

5. 環境経営計画

スローガン： 私たちは、CO₂排出ゼロを目指します

No.	取組項目	取組む内容	日程	責任者
1	電力使用量削減	・エアコンの運用管理 ・循環扇/サーキュレーターの活用 ・エアコンの更新/太陽光発電の導入（八戸） ・遮熱/遮光ブラインドの設置（八戸、大阪）	月度管理（エコアクション21活動実施表による）	本社、八戸：総務課長 大阪、北海道：営業所長
2	ガソリン購入量削減	・エコドライブの啓蒙 ・社有車の適正使用 ・社有車の更新（本社）		本社、大阪：営業課長、営業所長 八戸：総務課長
3	灯油購入量削減	・ヒーターの適性使用		検査課長
4	一般廃棄物削減	・分別（リサイクル）の推進		本社、八戸：総務課長
5	産業廃棄物削減	・分別の推進 ・有価物への転換		本社、八戸：総務課長
6	水使用量削減	・節水の啓蒙		総務課長
7	揮発性有機化合物削減（社内）	・最低限の購入		板金課長
8	揮発性有機化合物削減（塗装）	・粉体塗装への転換準備 ・有害物質の把握		環境管理責任者
9	環境配慮設計の推進	・部品点数の削減 ・小型/軽量化 ・環境へ配慮した仕様・製品の提案		技術部長
10	不適合の低減	・不適合削減策の実施（仕損、後工程）		生産管理部長、技術部長
	残業時間の削減	・生産/作業効率の向上 ・生産計画の見直し(生管) ・リソース配分の調整 ・製造/検査プロセスの改善 ・外注化による検査教育、移管(品証)		生産管理部長、品質保証部長
11	地域貢献	・地域清掃活動への参画 ・工場見学（インターシップ含む）の受入		総務課長




青字：2024 年に見直した取組内容

6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み

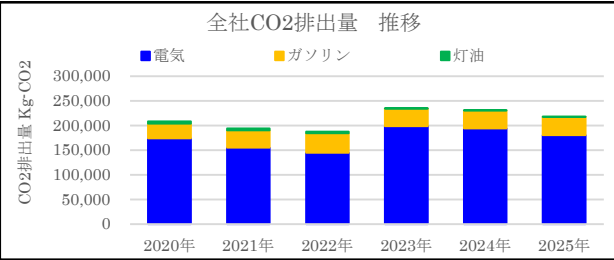
達成率での評価。評価：100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

取組項目				単位	部門	2024 年 実績(基準)	2025 年 目標	2025 年 実績	達成率%	評価
CO2排出量削減				Kg-CO2	全体	208,856	206,278	217,697	95	△
電力 使用 量削 減		排出 係数	0.441	Kwoh	全体	379,057	371,595	393,987	94	△
					本社	11,957	11,950	12,110	99	△
					八戸	361,230	354,005	375,339	94	△
					大阪	2,285	2,280	2,279	100	○
					北海道	3,585	3,360	4,259	79	×
			0.521		八戸	0.304	実績把握	(0.216)	-	-
		0.318	電力量/生産金額							
		0.605								
ガソリン購入量削減				L	全体	15,126	14,954	15,909	94	△
					本社	8,168	8,005	8,125	99	△
					八戸	5,682	5,680	6,577	86	△
					大阪	1,275	1,269	1,207	105	○
灯油購入量削減				L	八戸	90	600	138	435	○
一般廃棄物削減				Kg	全体	1,152	1,145	1,182	97	△
					本社	178	175	140	125	○
					八戸	974	970	1,042	93	△
産業廃棄物削減 (本社は工事含む)				Kg	全体	4,240	4,236	4,402	96	△
					本社	1,591	1,590	460	346	○
					八戸	2,649	2,646	3,942	67	×
水使用量削減				m³	八戸	635	670	693	97	△
揮発性有機化合物削減(社内)				L	八戸	4	4	0	100	○
揮発性有機化合物削減(塗料)				L	全社	-	実績把握	(1,680)	-	-
環境配慮設計の推進					技術	8	10	11	110	○
不適合の低減				千円	生管	302	272	367	74	×
				千円	技術	-	実績把握	(307)	-	-
残業時間の削減				時間	生管	5,329	4,796	5,942	81	△
				時間	品証	3,422	3,080	4,355	71	×
地域貢献(地域清掃)				件	総務	2	2	2	100	○
地域貢献(工場見学)				受入率	総務	受入率 91%	受入率 100%	115	115	○

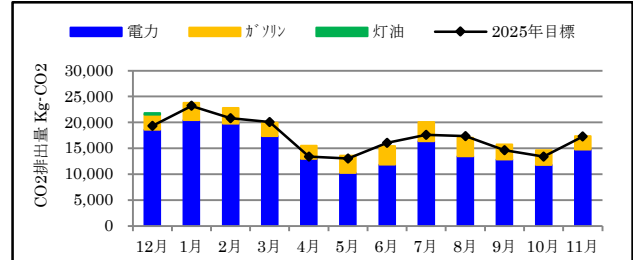
6.1 二酸化炭素排出量

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
206,278Kg-CO ₂	217,697Kg-CO ₂	95% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。 ・排出比率は電力が 82.9%、ガソリンが 17%、灯油が 0.1%。 ・2024 年までは R4 排出係数で算出していたが、2025 年からの 3 ケ年は R6 排出係数を採用したことにより、排出起因の電力は増加したものの、グラフ上の排出量は 2024 年比減少となっています。 ・二酸化炭素排出に起因する電力は 1/4 拠点、ガソリンは 1/3 拠点、灯油は 1/1 拠点の達成状況でした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸の電力削減策を実施します。 ・電力使用が二酸化炭素排出量に大きく寄与する為、引き続き省エネ行動を啓蒙します。 	




【年度別推移】



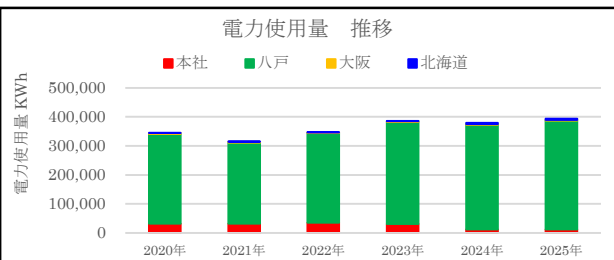
【2025 年月別実績推移】



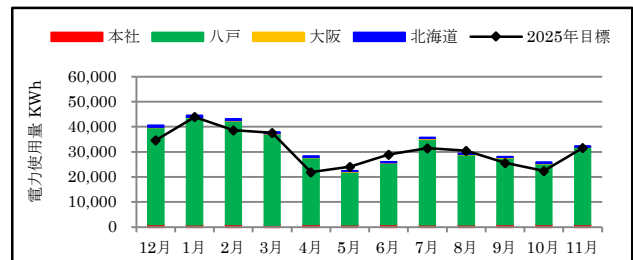
6.2 電力使用量

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
371,595KWh	393,987KWh	94% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。(大阪：達成、本社、八戸、北海道：未達成) ・八戸が全体の 95.3%を占めており、八戸の目標達成率がほぼ全体の達成率となっている。 ・(参考) 生産額指標：電力量 KWh/生産額 (千円) 2025 年：0.216 2024 年：0.304 		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸、大阪、北海道はエアコンの運転管理を引き続き行います。 ・八戸はエアコン更新及び受電設備の統合を計画します。 また、第二工場に自家消費型太陽光発電設備の設置を検討します。 ・八戸は絶対値目標以外の指標（生産量対比など）を設けて、評価、します。 	

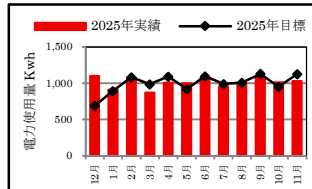
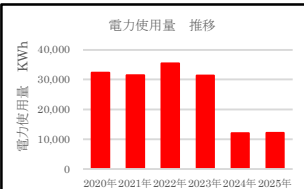
【年度別推移】



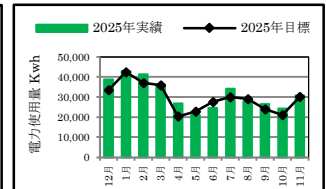
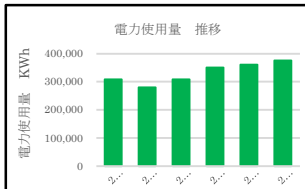
【2025 年月別実績推移】



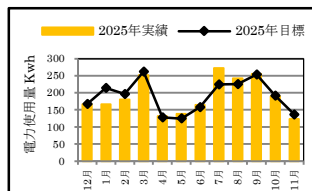
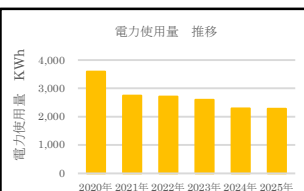
【拠点別推移】 〈本社〉



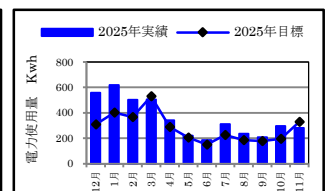
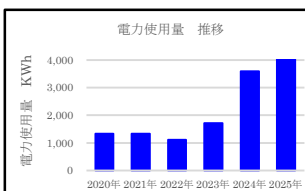
〈八戸〉






<大阪営業所>



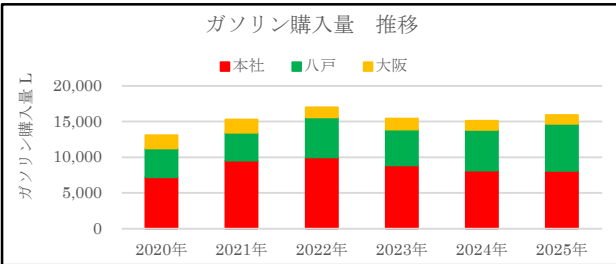
<北海道営業所>



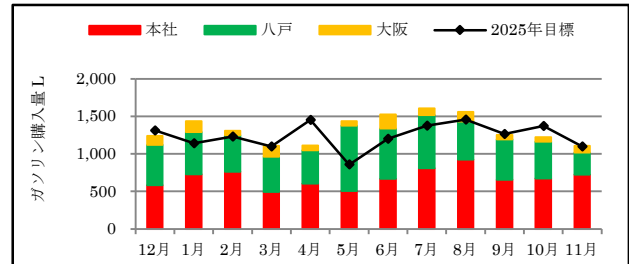
6.3 ガソリン購入量

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
14,954 L	15,909 L	94% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。(大阪：達成、本社、八戸：未達成) ・本社が全体の 51%、八戸が 41%を占めています。本社はアイドリングストップ機能付きの社有車変更も寄与し、昨年より減少しましたが、八戸は協力会社や新規顧客の訪問で増加しました。 ・大阪は効率的な使用、公共交通機関の利用を図りました。 ・エネルギーコスト：2,624 千円(77 期 2,636 千円 99.5%) 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きエコドライブの啓蒙、社有車の適正運用及び効率的運用（公共交通機関の利用）を考慮します。 	

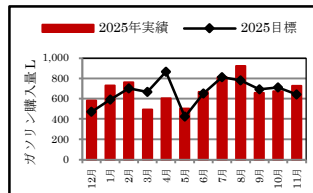
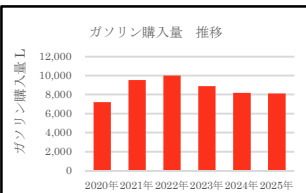
【年度別推移】



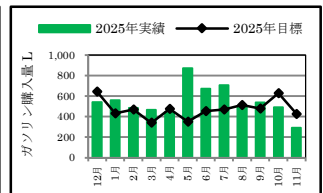
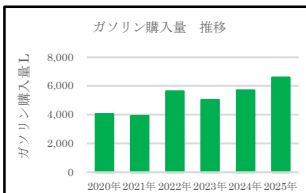
【2025 年月別実績推移】



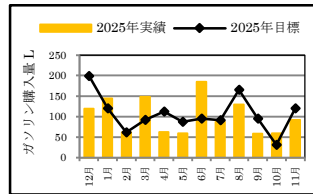
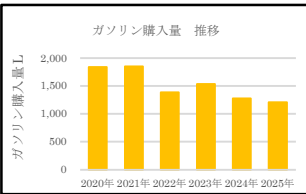
【拠点別推移】
〈本社〉






〈八戸〉



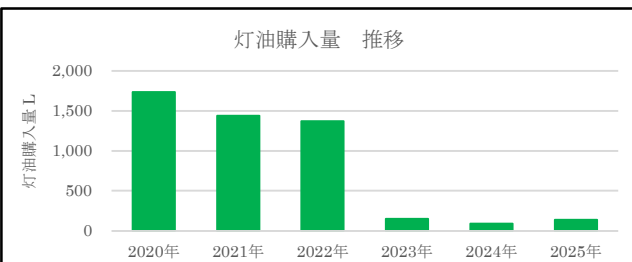
〈大阪営業所〉



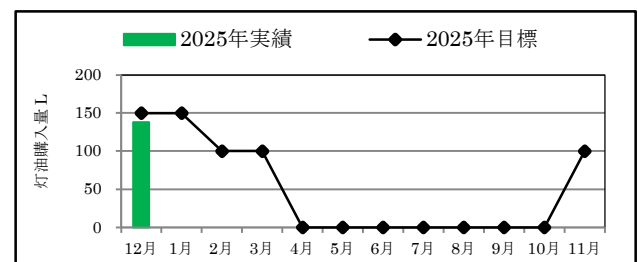
6.4 灯油購入量

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
600 L	138 L	435% / ○	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・今期、定期的な製品評価試験後の乾燥用での使用を想定し、目標設定しましたが、協力会社への製品移管により、購入量が大幅に下回りました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・製品評価試験後の乾燥用での使用はある為、目標値の見直しを行います。 	

【年度別推移】





【2025 年月別実績推移】

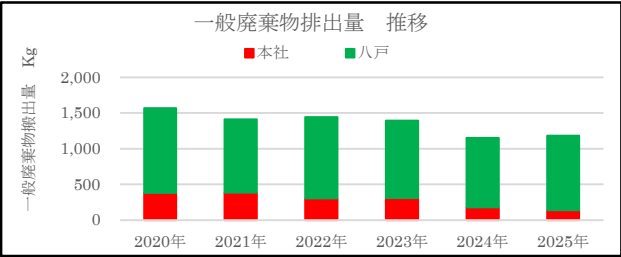


6.5 廃棄物排出量

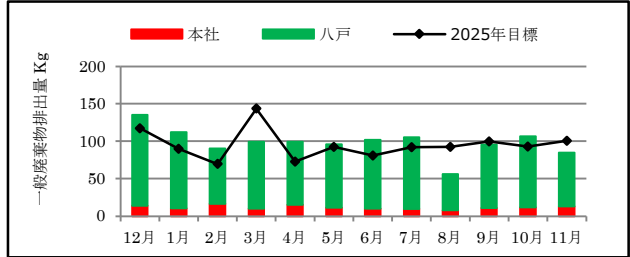
6.5.1 一般廃棄物

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
1,145 Kg	1.182 Kg	97% / △	 
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none">・目標未達成。(本社：達成、八戸：未達成)・本社は種類別に色分けしたゴミ箱に変更したことで分別が徹底できました。・八戸も紙類の分別効果はでているが、生産量増の影響がありました。・(参考) 生産額指標：残業時間/生産額 (百万円) 2025 年：0.60 2024 年：0.82		<ul style="list-style-type: none">・引き続き廃棄物の分別を行います。・八戸は絶対値目標以外の指標（生産量対比など）も検討します。	

【年度別推移】

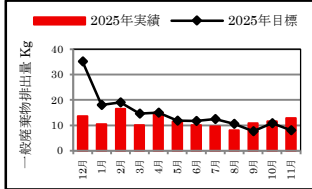
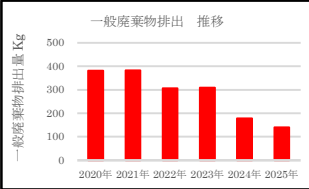


【2025 年月別実績推移】

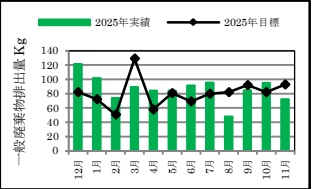


【拠点別推移】




〈本社〉



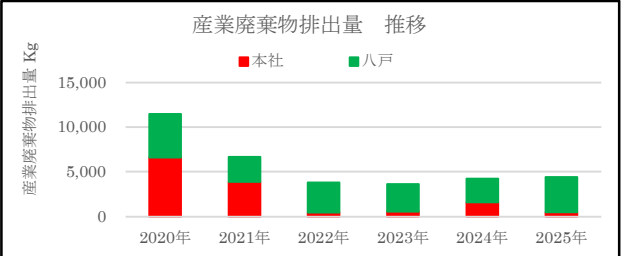
〈八戸〉



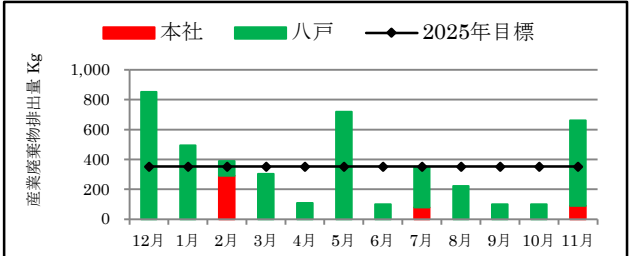
6.5.2 産業廃棄物

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
4,236 Kg	4,402 Kg	96% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none">・目標未達成。(本社：達成、八戸：未達成)・八戸は分別として金属端材の他に廃棄物から有価物への転換として、電線、基板など711Kgを売却することができ、排出量の削減につながりましたが、生産量増の影響がありました。・(参考) 生産額指標：残業時間/生産額 (百万円) 2025 年：2.27 2024 年：2.23		<ul style="list-style-type: none">・引き続き有価物への転換を推進します。・八戸は絶対値目標以外の指標（生産量対比など）も検討します。	

【年度別推移】

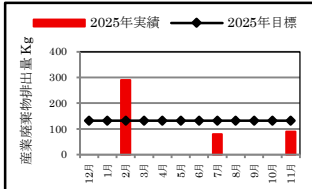
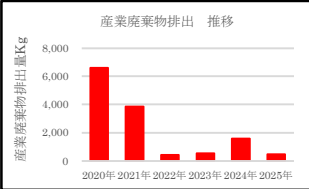


【2025 年月別実績推移】

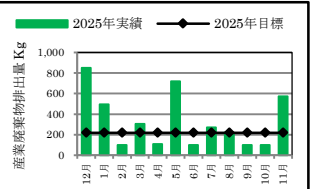
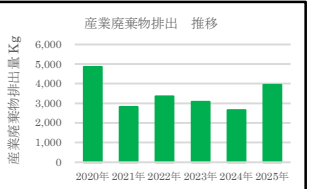


【拠点別推移】


〈本社〉



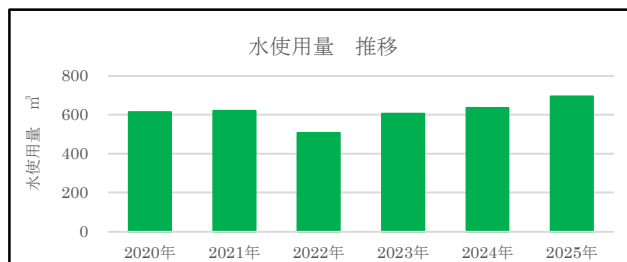
〈八戸〉



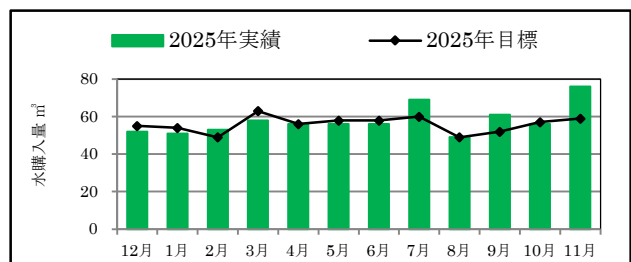
6.6 水使用量

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
670 m ³	693 m ³	97% / △	
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。 ・水使用はトイレ、生活水が主な為、掲示による節水の啓蒙活動は継続しました。 ・今期は製品試験での使用増により、増加となってしまいました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き啓蒙活動を継続します。 	

【年度別推移】




【2025 年月別実績推移】

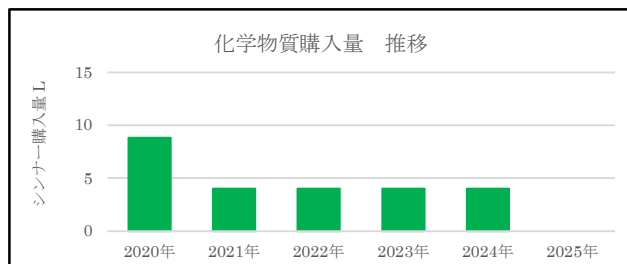


6.7 揮発性有機化合物

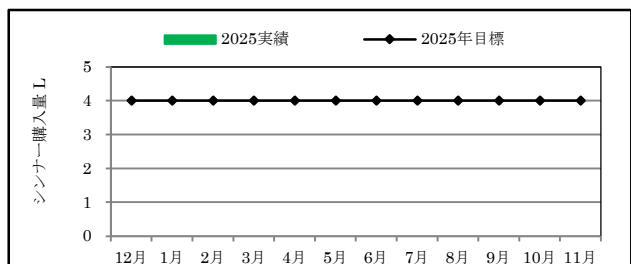
6.7.1 揮発性有機化合物削減（社内）

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
4 L	0 L	100% / ○	
結果		今後の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・素材の洗浄用として使用していますが、新規購入はありませんでした。 ・現状のトルエン 50%含有のシンナーの代替として、キシレン 30%～40%含有のシンナーの評価を行い代替できることが分り、有機化合物を削減することができます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・管理物質をトルエンからキシレンに変更します。 ・引き続き最低限の購入を行っていきます。 	

【年度別推移】



【2025 年 実績推移】



6.7.2 揮発性有機化合物削減（塗料）

2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
実績把握	1,680L	-	
結果		今後の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・新規粉体塗料 3 種類（既色：1 種類、新色：2 種類）を製作しました。 ・溶剤塗料用シンナーの購入量を把握しましたが、協力会社が 1 社増加及び生産量の増加から塗装量の増加があり、シンナーの購入量が増加している状況でした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新規色については粉体塗料を優先として製作していきます。 	

6.8 各部門の環境改善実績

達成率での評価。評価：100%以上“○”、99～80%“△”、80%未満“×”

6.8.1 技術部

改善項目	2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価
環境配慮設計の推進	10 件	11 件	110% / ○
結果	今後の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・部品点数の削減 3 件、小型/軽量化 5 件、環境へ配慮した仕様製品の提案 3 件の提案ができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き周知と提案の働きかけを行っていきます。 		
不適合の低減	実績把握	(307 千円)	—
結果	今後の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・今期は、実績把握とし構造 G、回路 G、ソフト G での損失金額を取得しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2025 年を基準として 2026 年は 10%減を目標に活動します。 		

6.8.2 生産管理部

改善項目	2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価
不適合の低減	272 千円	367 千円	74% / ×
結果	今後の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。 ・生産量の増加に伴いマンパワー不足となりましたが、プロセスの見直し、工具取扱い教育やトルク／はんだ付け訓練など多角的な施策を実施しました。 ・合同品質会議の実施により、板金課と製造課で不良に対する認識は高められましたが、数値的に結果が伴っていない状況でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き品質活動計画に連動して取組みます。 ・新製品起因の不良や仕損不良が多く、作業者ごとの品質意識や理解度に差があることから、教育の標準化、自己チェックの徹底を図ります。 		
残業時間の削減	4,796 時間以下	5,942 時間	81% / △
結果	今後の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。 ・今期の取り組みとして外注展開を実施してきました。効果として残業を抑えられていますが、短納期対応による突発的な残業での対応は課題としてあります。 ・（参考）生産額指標：残業時間/生産額（百万円） 2025 年：3.42 2024 年：4.49 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業活動計画と連動して取組みます。 ・外注展開の拡大と共にクロストレーニングを計画的に進めて生産管理部として、残業時間の抑制に取組みます。 		







6.8.3 品質保証部

改善項目	2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価
残業時間の削減	3,080 時間以下	4,355 時間	71% / ×
結果	今後の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。 ・人員の補充が進まない、出張による持ち工数減の状況でありましたが課内での負荷平準化、他部門からの支援、外注利用等を図りました。 ・施策の中で検査プロセスの改善が繁忙が故に思うように進められませんでした。 ・（参考）生産額指標：残業時間/生産額（百万円） 2025 年：2.51 2024 年：2.88 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業活動計画と連動して取組みます。 ・実検査工数を確保するため、時間創出も含め検討します。 		

6.8.4 総務部

改善項目	2025 年(80 期)目標値	実績	達成率/評価
地域貢献（地域清掃）	2 件 以上	2 件	100% / ○
結果		今後の取組み	
<p>・目標達成。</p> <p>・本社は 9 月に川崎駅前、八戸は 6 月にハテクパーク内の清掃活動に参加し、地域の美化に貢献しました。</p>		<p>・引き続き地域活動への参加を計画します。</p>	
地域貢献（工場見学）	受入率 100%	実績 15 / 計画 13 件	115% / ○
結果		今後の取組み	
<p>・目標達成。</p> <p>・5 月までは計画がありませんでしたが、6 月以降 14 件、インターシップ 1 件の受入を行いました。</p>		<p>・引き続き依頼された工場見学は受入計画を策定します。</p>	

6.9 その他の環境関連活動

地域活動		
川崎駅前清掃活動への参加	八戸ハテクパーククリーン作戦への参加	
川崎市生活環境部減量推進課が主催する清掃活動に参加し、駅前のタバコの吸い殻除去等、美化に貢献しました。	八戸グリーンハイテックランド内および周辺の清掃活動に参加し、ハイテクパークの環境美化に貢献しました。	
		
環境提案事例		
<p>起案：大阪営業所</p> <p>大阪営業所はオフィスビル 7 階 南向きに位置しており、日当たりがよく西日もきつく当たるロケーションである為、遮熱効果の高いブラインドへの交換を行うことにより、体感温度を下げることができました。</p> <p>【改善後】</p> 	<p>起案：生産課</p> <p>事務所の照明は 18 ケ所あり、人がいない時には、照明器具のプルスイッチで OFF できるようになっていますが、紐が短く背の低い人は届かない状況があった為、紐を長くし、誰でも間引きできるようにしました。</p> <p>【改善前】</p>  <p>【改善後】</p> 	<p>起案：板金課</p> <p>板金課では作業で使用したウエスやスミスは 1 度の使用で廃棄していましたが、油污れのひどい箇所は、廃棄していたものを再利用する為に回収 BOX を設置しました。新品と併用することにより、ウエスなどの使用量を減らすことができ、産業廃棄物の削減につながりました。</p> <p>【改善後】</p> 

6.10 環境経営目標及び環境経営計画の総括

総括	評価
<p>【今期の活動について】</p> <p>2025 年(80 期)は、新たな中期環境経営計画として 2024 年(79 期)実績を基準として目標設定を行い、環境負荷低減として初年度は維持+αを目標として活動を始めました。また、環境改善活動としては新たに、揮発性有機溶剤の削減、直接業務に関連する不適合削減の拡大、残業時間の削減の追加、地域貢献の見える化の項目を設定し活動してきました。そして活動啓蒙(行動)を推進するため、各推進委員への教育、推進委員から部門内への教育を実施しました。</p> <p>【環境経営目標について】</p> <p>①達成状況：100%以上(○)8 項目/28 項目、100%未満～80%(△)：12/28、80%未満(×)：5/28 データ取得項目(無評価)：3/28</p> <p>②CO2 排出量の変化：</p> <p>目標達成率 95%(前年(79 期)比 4.2%増、R6 排出係数換算)、電気での排出が 83%を占めました。</p> <p>(CO2 排出量に関わる主な内容)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気は全体の目標達成率 94%(前年(79 期)比 3.9%増) <p>拠点別では大阪が目標達成、本社は 99%、北海道は目標値設定の問題もあり 79%の達成率となりました。。</p> <p>八戸は工場負荷増加(生産金額ベースで約 1.5 倍)の影響で 94%の達成率となりました。。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンは全体での目標達成率 94%(前年(79 期)比 5.2%増) <p>拠点別では大阪が目標達成、本社は 99%、八戸は協会社や新規顧客対応により、86%の達成率となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯油は製品評価での使用を考慮し目標設定しましたが、協会社での対応となり、使用量が減少した為、大幅な目標達成率となりました。 <p>③その他の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物 97%、産業廃棄物 96%、水購入量 97%の達成率で工場負荷の増加に伴い絶対値が増加した結果となっています。 ・工場内で使用する揮発性有機化合物は購入量をゼロとすると共に現状のトルエン 50%含有のシンナーの代替として、キシレン 30%～40%含有のシンナーの評価を行い代替できることが分り、有機化合物を削減することができます。 <p>塗料については、3 色を粉体塗料で製作しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門の改善活動は、生産、検査が目標未達成、技術、総務は目標達成となりました。 <p>【環境経営計画】</p> <p>①設備に関する計画：</p> <p>本社は社用車の更新、八戸はエアコン更新、第二工場への太陽光発電導入、大阪営業所は遮熱/遮光ブラインドの設置を計画しました。</p> <p>②実施状況：</p> <p>本社の社用車は 12 月に更新（但し、省エネ効果としてはアイドリングストップのみ）、八戸のエアコン、第二工場の太陽光発電は予算及び実施時期の関係で延期となりました。大阪営業所は 4 月にブラインド設置を行いました。。</p> <p>【まとめ】</p> <p>今期は予算規模が大きいエアコン更新、太陽光発電の設置はできませんでした。</p> <p>【次年度に向けて】</p> <p>次年度は実情に合わせた目標値の見直し及び八戸は絶対値目標だけではなく、生産額などの指標も取り入れていくことを検討します。また、当社の事業内容について工事という文言を配線接続に変更し、建設業のガイドランを適用除外とします。</p>	○

7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果

7.1 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果

法規制	内容	確認結果	評価
消防法	①消防設備の定期点検 ②消防訓練実施	①八戸は5月、11月に点検を実施し異常はありませんでした。本社は2月、9月、北海道は2月、8月、大阪は11月にビルにて点検を実施しています。 ②本社は5月、11月に訓練を実施し手順に問題はありませんでした。八戸は冬期間の実施を計画します。	遵守
産業廃棄物処理法	①許可証の有効性 ②マニフェスト交付保管 ③マニフェスト交付等状況報告書	①許可証の有効期限切れはありませんでした。 ②マニフェストの保管に問題はありませんでした。 ③本社、八戸とも期限内に提出され問題ありませんでした。	遵守
浄化槽法	①法定検査実施 ②保守点検	①八戸及び設計棟は2025年1月、第二工場は2024年12月に検査を実施し水質等に異常はありませんでした。 ②八戸及び設計棟は2024年12月、2025年3月、6月、9月、第二工場は2025年1月、3月、5月、7月、9月、11月に保守点検を実施し、必要事項に対しては処置を行いました。	遵守
エネルギーの使用の合理化等に関する法律	① エネルギーの使用合理化	①EIAアクション21活動実施表により実績を把握していました。	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	① 事業活動に伴う排出抑制	①EIAアクション21活動実施表により実績を把握していました。	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律	① リサイクルルートに従った廃棄	①対象品はありませんでした。	遵守
特定家庭用機器再生商品化法	① 法律に基づく処理	①対象品はありませんでした。	遵守
使用済み自動車の再資源化等に関する法律	① 法律に基づく処理	①対象車はありませんでした。	遵守
ポンプ類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	①エアコンの簡易点検 ③ 法律に基づく処理	①2025年1月、3月、7月、9月に簡易点検を実施し問題はありませんでした。 ②今期の対象はありませんでした	遵守
労働安全衛生法	①特定自主検査 (ア) 月次自主検査	①第二工場は4月、八戸は6月にフォークリフトの特自検を実施し異常はありませんでした。 ②フォークリフトの月次検査で異常はありませんでした。	遵守

* 法令違反や関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

7.2 環境関連法規制に関する最新版確認結果

確認結果	評価
年2回（5月、11月）改正状況の確認を行った結果、33件の法律/政令/省令、3件の条例/規則の改正がありましたが、当社の事業活動に直接影響を及ぼす改正はありませんでした。	○

7.3 外部コミュニケーションの結果

確認結果	評価
2024年12月～2025年11月までの期間において本社及び工事関連、八戸事業所（設計棟、第二工場含む）、大阪営業所、北海道営業所において苦情はありませんでした。	○

8. 経営者による評価と見直し指示

8.1 前回の指示に対する取組み結果

見直し項目	前回の見直し指示内容	指示内容に対する取組み結果
環境経営方針	2022 年(76 期)からの中期経営計画が終了しました。来期からは活動結果などを踏まえ、環境経営方針の見直しを行い、新たな中期経営計画をスタートします。それに基づき、中期経営目標/計画を立案し次のステップの活動を推進して下さい。特に塗料の見直しを行い、化学物質の削減を図って下さい。	2025 年(80 期)からの新たな環境経営方針に基づき、中期経営目標及び計画を立案して活動しました。活動結果は 6 項の内容となります。
環境経営目標及び環境経営計画	評価できるレベルとなり、これ以上大幅な改善は設備投資が前提となりますが、まずは現状を維持するとともに、改善と工夫は引き続き実施して下さい。最終的には工場においては電力の自給自足を目指します。	改善と工夫は 6.9 項の内容となります。電力の自給自足については、第二工場に太陽光発電を導入した場合やその他の設備投資計画から、中期計画での CO2 削減目標を算定しました。
実施体制	なし	—
その他	なし	—

8.2 経営者による評価

経営者による評価
<p>2025 年（80 期）環境経営目標の達成状況は、全体的に工場生産額が増加（前年比 137%）したこともあり、目標未達項目が多い結果となりました。CO2 排出量は増加したものの従来の取り組みを継続した中で稼働時間が増加したことも要因だと考えます。電力量などは生産高が増えることも想定した目標値を設定し、実力値がわかるような仕組みを検討してください。また、生産高とは関連性の低い項目の目標未達項目については、振り返りを含めて再チャレンジを実施してください。</p> <p>注意することとして、目標項目だけを追い求めると目的が見えにくくなりますが、我々が目指す目的は、メーカーとしての高い品質、お客様との信頼関係の中で、環境を配慮した良い製品を開発し長く使っていただくことを忘れずに活動を推進してください。</p> <p>エコアクション 21 の活動評価は全体的に高いレベルで運営が出来ており、計画的な設備投資（太陽光パネル、EV 車、板金設備の更新）による CO2 削減効果を期待するまでに至りました。各部門のエコアクション 21 推進委員会を中心とした活動も裾野まで広がりはじめ、今後も全社員ひとり一人の参加による実効性のある活動を期待しております。</p> <p>事業の健全性と投資タイミングを見計らい 2030 年までに電力の自給自足を目指していく活動を引き続き推進していきます。</p>

8.3 経営者による見直し指示

項目	評価	見直し指示内容
環境経営方針	活動の展開において環境経営方針に沿った活動が実施されていることを確認しました。	○ 1) 建設業ガイドラインの適用に関わる基本方針の見直しを行って下さい。
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標の達成状況は、活動の成果は出ていると判断します。ただ、環境経営目標未達項目が多く見受けられました。生産額増の要因もありますが、今までの習慣を見直し目標達成できる項目があると思います。（軽微なことより大胆にやめること、行動の見直し、AI、IT の活用など）	△ 1) 生産額と電気料金との相对比较ができる仕組み及び東北電力以外の供給も検討して下さい。 2) 塗料の揮発性有機化合物排出量削減について、活動が見えませんでした。お客様⇔営業（担当）の個人活動ではなく、お客様⇔会社（社員）の活動であることを意識し、メーカーとして環境適合製品を提供する会社になるよう活動の質を高めて下さい。 3) 目標達成に向けて、今までの習慣を再度見直して下さい。 ・品質を高める、良い製品をつくる、お客様満足度 ・外注化、適正人員配置による残業抑止 ・成果のない仕事、OUTPUT が活用されない無駄な仕事、効果的な営業社有車の活用など
実施体制	新たに構成した若手社員を中心としたEA21 推進委員の活動も大きく貢献してくれていると認識しております。	○ なし
その他	環境整備活動など継続的に実施されていることが確認できた。	○ なし